AAASFaceⅡユーザーガイド

最新修正：	2020.07.14
修正番号：	V1.0

株式会社アイフォーカス

内部情報、機密保持

修正履歴

履歴番号	発行日	改修内容	承認	レビュー	作成者
001	2020.7.14	初版作成	青山	永井	楠元

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

目　次

設定画面起動方法 3

1. 端末設定 5

2. 認識設定 6

3. ユースシーン設定 8

4. ユーザー管理 12

5. 記録管理 14

6. 出入ドア設定 15

7. フィルライト設定 16

8. スクリーン設定 17

9. アナウンス放送設定 18

10. ビデオインターホン 19

11. データ同期 19

12. 組織設定 21

13. システム・メンテナンス 22

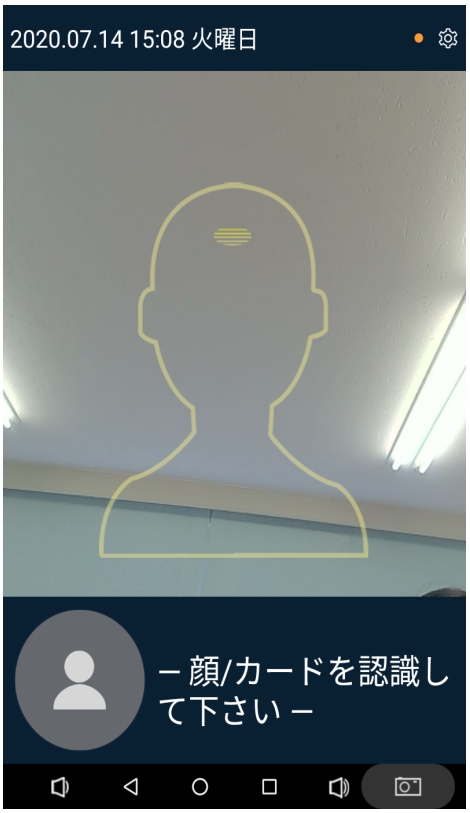
14. バージ情報 23

15. アプリ終了 23

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

設定画面起動方法

AAASFace のインストールが完了したら、[実行]をクリックして AAASFace を開き、右下の画面が表示されます。



左：起動中画面　　右：ホーム画面（カメラ画像を表示）

右側のホーム画面の右上にある ボタンの長押しをすると、設定メニューが表示されます。

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

※設定メニューに入る前にはパスワードを入力する必要があります。
※初期設定は「12345632」が設定されています。

※パスワード変更をしたい場合は、 → 「システム・メンテナンス」メニューを選択し、変更することが出来ます。

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

1. 端末設定

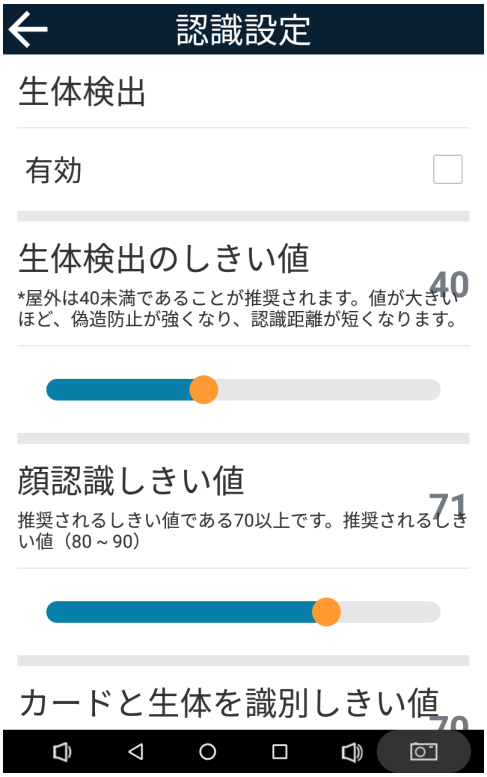
「端末設定」へ入ると、次の図の画面が表示されます。データ入力が完了したら、[構成の保存] をクリックし、接続が成功したことを確認し、ターミナルがミドルウェア サーバーに連続して接続されていることを示し、接続が失敗したことを示す場合は、アドレスが正しいことを確認するか、ネットワークを確認してください。

設定項目	説明
ID	本製品のシリアル番号（各機器の ID 値は一意）
アドレス	プラットフォームのアドレス
ポート	プラットフォームのポート番号(デフォルト値：1820)
ステータスレポート間隔	端末状態の詳細情報レポート間隔 （通知内容：デバイス番号・IP アドレス・ソフトウェアバージョン・処理人数・計測結果数・デバイスの稼働時間等） デフォルト値は 180 秒毎
暗号化接続を使用する	デフォルトは無効 有効の場合、TLS プロトコルを使用

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

2. 認識設定

「認識設定」へ入ると、次の図の画面が表示されます。生体検出有効、生体検出しきい値、顔認識しきい値、カードと生体を識別しきい値、認証距離しきい値、同一人識別時間間隔等の設定項目があります。実際の利用状況に応じて各項目を設定してください。



Copyright©2020 i-focus All rights reserved

パラメータ説明

設定項目	説明
生体検出	初期設定では有効になっていないので、必要に応じて設定してください。
生体検出のしきい値	この構成は、生体検出が有効になっている場合にのみ利用出来ます。生体検出のしきい値を設定するために使用されます。デフォルトは 40 です。値が高いほど偽造防止の機能が高くなりますが、認識速度にも影響します
顔認証しきい値	初期設定では 80 に設定されています。顔ライブラリへ 10,000 件以上登録する場合は 90 以上に設定することをお勧めします
カードと生体の識別しきい値	ID カードの画像と顔取得した画像を比較することができます。初期設定では 80 に設定されています。
認識距離のしきい値	認識距離しきい値を低く設定すると、顔認証する際に顔と画面の距離は近くする必要があります。初期設定では 80 に設定されています。
同一人物の再認識間隔	同一人物を認識範囲内で繰り返し認識する間隔です。 デフォルト値は 3 秒です。
左右識別 推薦範囲（12～18）	人の位置と端末の中心軸との間の左右の角度を特定します。デフォルト値は 18 度です。値が低いほど、左右の頭の識別が難しくなります。
上下識別 推薦範囲（12～18）	人の位置と端末カメラの中心線との間の上下の角度を設定します。デフォルト値は 18 度です。値が低いほど、頭を上げたり下げたりするのが難しくなり、中心を向く必要があります。
側面識別 推薦範囲（12～18）	顔の横方向のずれとカメラの中心線との間の角度。デフォルト値は 18 度です。値が低いほど、側面を認識しにくくなり、顔を正面の中心に置く必要があります。
カードと生体の検索のタイムアウト	ID カードの画像と顔認証の比較のタイムアウト時間です。デフォルト値は 2 秒です。
背面カメラを有効にするか	初期設定では有効になっていないので、必要に応じて設定してください

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

3. ユースシーン設定

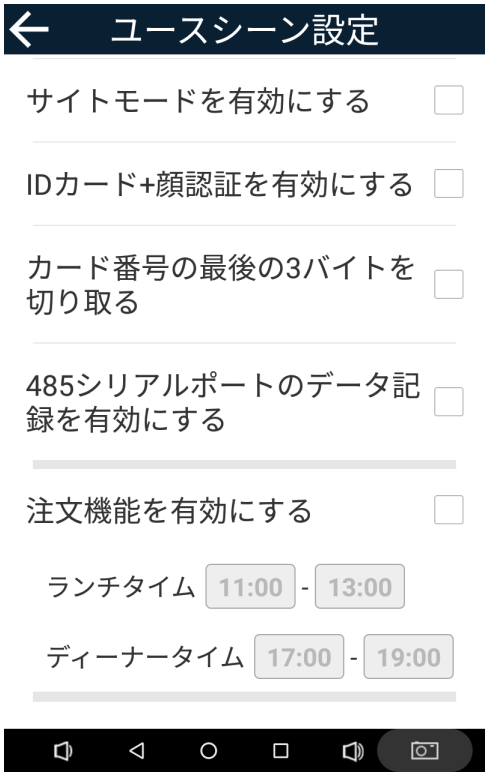
「ユースシーン設定」は、主にアクセス制御、リモートドア、ブラックリスト、その他のビジネス機能スイッチが設定できます。

パラメータ説明：

設定項目	説明
ドアアクセス制御を有から効にする（ローカル）	初期状態では有効になっています。有効になっていない場合は、ドアアクセス制御することができません。
リモートドアオープンを有効にする	プラットフォームを介してリモートからドアの開閉を制御することができます。初期状態では有効になっていません。
有効時間帯設定有効	プラットフォームを介して各人の認識の有効時間を設定することができます。無効時間帯は、顔認識で通過することはできません。初期状態では有効になっています。
データを保存する	認識成功した出勤データを保存するかどうか
写真アップロードを有効にする	有効にすると顔の照合後、撮影した写真をプラットフォームにアップロードします。
レコードアップロードを有効にする	有効にすると、プラットフォームに出退記録データを送信します。（注：データを保存するには、事前に有効にする必要があります）
ID カード（中国のみ）を有効にする	中国身分証明書有効
写真のない人の同期を許可	プラットフォームとユーザー同期する際に、写真のな

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

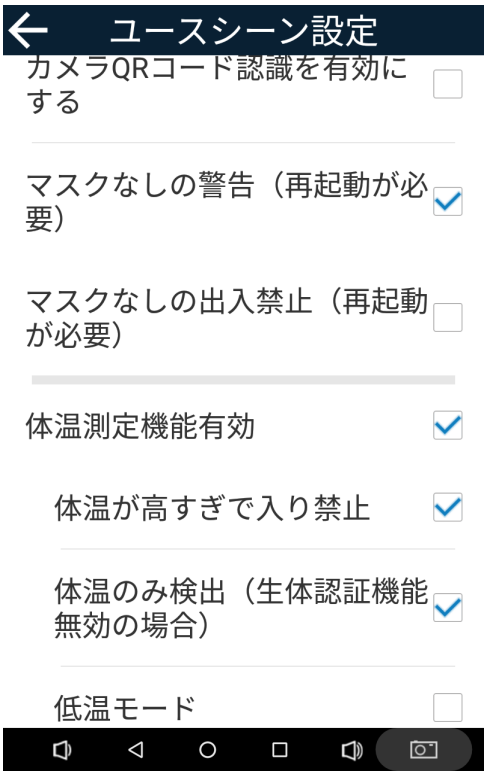
する	いデータ同期が可能にする。写真のないユーザーの顔認証不可になります。 ＩＣ カードのみ認証有効にする場合、該当設定を有効にしなければなりません。

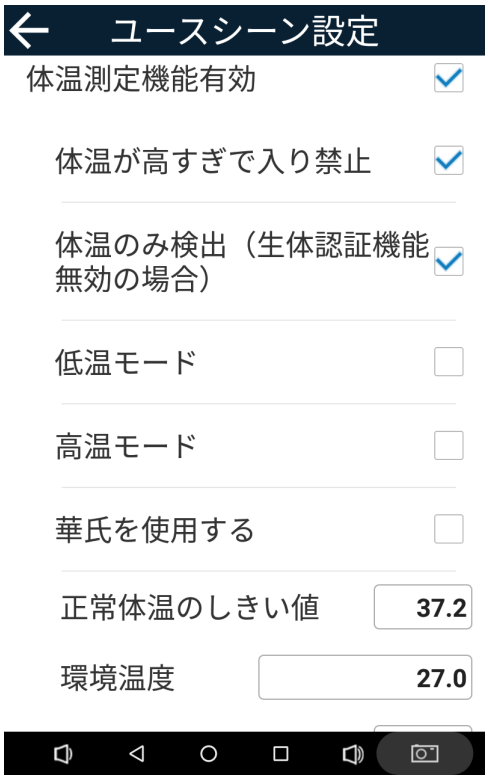


設定項目	説明
センサーでカメラを制御する（465）	有効にすると、カメラは赤外線センサーによってオン/オフされます。この機能は、TPS465 モデル製品にのみ適用されます。
プラットフォームに接続有効にする	プラットフォームと連動して使用することができます。ユーザーがプラットフォーム リンク サービスを持っていない場合は、有効にする必要はありません。
音声コンテンツをポップアップ	音声コンテンツを文字に変換し、ポップアップ・ウィンドウ表示し、認識が成功したかどうかを通知することができます。初期状態では有効になっています。
セルインターコム機能を有効にするかどうか（再起動が必要）	有効にすると、スマート・インターフォン・システム、と連動することができます。設定を変更した後、アプリケーションを再起動する必要があります。セル・インタコム機能が不要な場合は有効にしないでください。
QR コード機能を有効にする（オプションハードウェアが必要）	デフォルトでは有効ではなく、有効にすると、USB インターフェイスを介して端末デバイスに接続された QR コード読み取りすることができます。
サイトモードを有効にする	有効にすると、サイトモードの設定が反映されます。建設あるいは工事現場などでの利用する場合に利用されます。

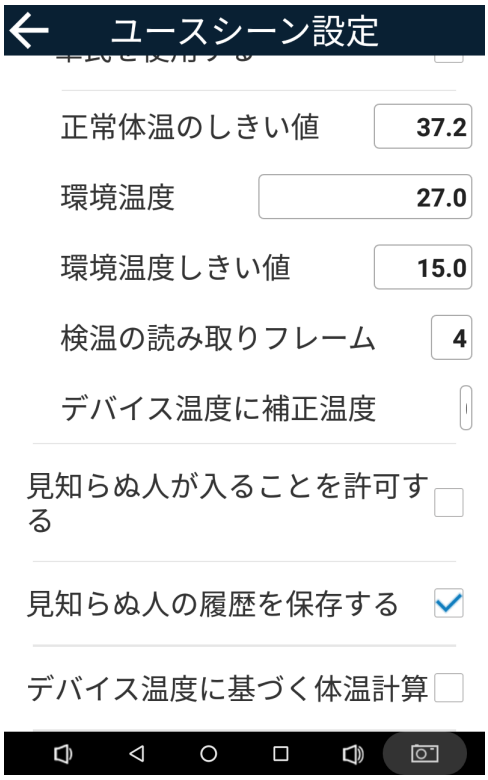
Copyright©2020 i-focus All rights reserved

ID カード+顔認証を有効にする	ID カードと顔認証の両方を認識する必要があります。
カード番号の最後の 3 バイトを切り取る	有効にすると、本製品は ID カードを認識した後、ID カード番号の最後の 3 バイトを削除してプラットフォームに送信します。
485 シリアルポートのデータ記録を有効にする	有効にすると、RS-485 シリアルポートを使用してプラットフォームに入出情報を送信できます。
注文機能を有効にする	有効にすると、ネット注文システムと連動して、注文時間を設定することができます
カメラ QR コード認証を有効にする	QR コードをカメラで読み取って、結果をホーム画面に表示することができます。初期状態では有効になっていません。（この機能は、別システムと連動して使う必要はありません。）





Copyright©2020 i-focus All rights reserved



設定項目	説明
マスクなしの出入り禁止	デフォルトは有効になっていません
体温測定機能有効	デフォルトでは有効になっていません。 温度検出モジュールが装備されている場合は、それを有効にするためのパラメーターを設定します。 1.「体温が高すぎで入り禁止」を有効にすると、体温が異常な場合、顔認識アクションは実行されず、人の侵入は許可されません。 2.「正常な体温のしきい値」を超えると、異常な体温が報告されます。

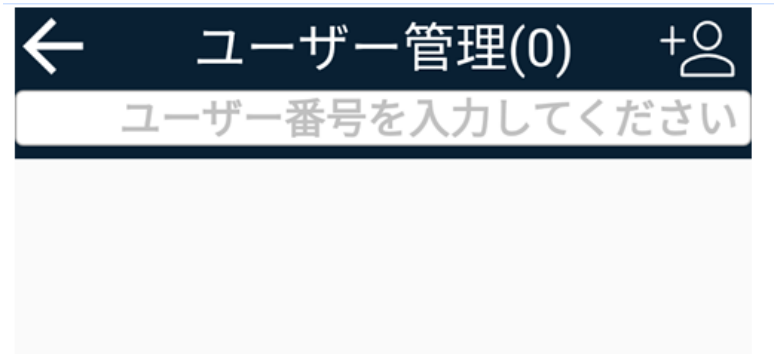
Copyright©2020 i-focus All rights reserved

4. ユーザー管理

ユーザーの照会、追加、削除、変更を行う操作ができます。ユーザーを一括で変更、削除したい場合，プラットフォームを利用する必要があります。

対象ユーザーを追加する場合：

（1）ユーザー管理ボタンをタップします。



（2）「直接追加」をタップします。

パラメータ説明：

設定項目	説明
直接追加	ユーザー情報を入力して、AAAS-Face デバイスローカルに登録します。
ID カード登録	ID カードの認証で、AAAS-Face に登録します。
オンラインで登録	プラットフォームからオンライン登録する。プラットフォームを利用する必要あります。

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

（3）各項目を設定します。

※登録ユーザーの番号、表示名、写真の設定は必須となります。

（4）✓ボタンをタップして、保存してください。

（5）新規ユーザーが登録されました。

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

※ユーザー情報を変更したい場合は、ユーザーを長押して変更できます。

5. 記録管理

「記録管理」へ入ると、次の図の画面が表示されます。名前、認識された日付、時刻などの情報が照会できます。

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

6. 出入ドア設定

出入りドア設定からは、タイムタイプ、ドアロックスイッチ、リレースイッチなどの機能を設定できます。

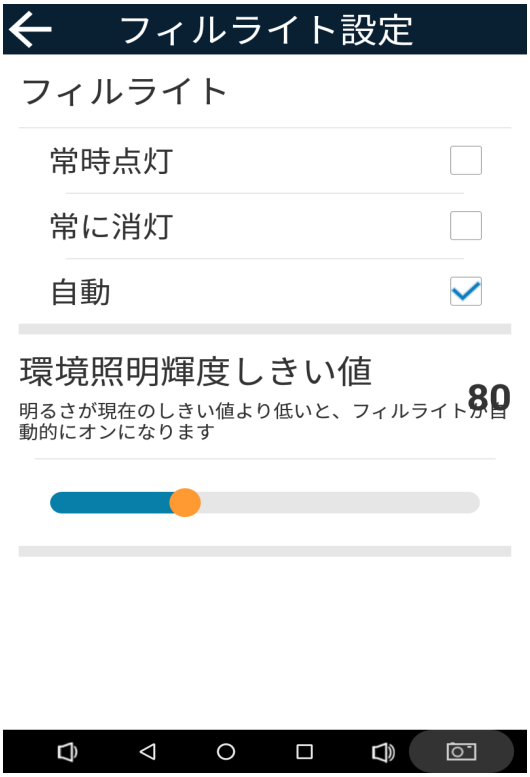
パラメータ説明：

設定項目	説明
通常出入	登録済の人/ID カード認証で入退室を制御します。
入室	登録済の人/ID カード認証で入室を制御します。
退室	登録済の人/ID カード認証で退室を制御します。
顔認識とドア連動	顔認識で自動解錠ができます。初期状態は有効になっています。
施錠ディレー	自動解錠後に施錠までかかる時間を設定することができます。初期状態は 5 秒と設定されています。
リレー	リレー接続ドアロックまたはゲートマシン使う場合に有効にします。初期状態は有効になっています。
ウィガン 26	26bit ウィガンインターフェイスを使う場合に有効にします。初期状態は有効になっていません。
ウィガン 34	34bit ウィガンインターフェイスを使う場合に有効にします。初期状態は有効になっていません。

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

7. フィルライト設定

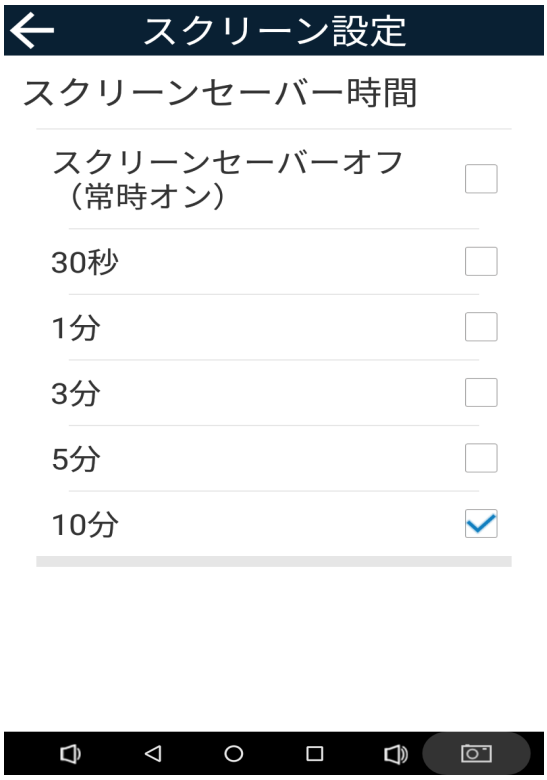
「フィルライト設定」は、ライトの状況を設定することができます。オン、オフ、または自動スイッチの設定が出来ます。自動スイッチを設定すると、周囲の明るさのしきい値が有効になり、設定されたしきい値を下回ると、自動的にライトがオンになります。



Copyright©2020 i-focus All rights reserved

8. スクリーン設定

「スクリーンセーバ」は、本製品を操作しない状態のまま、スクリーンセーバを起動する時間が設定できます。（必要に応じて設定してください）



Copyright©2020 i-focus All rights reserved

9. アナウンス放送設定

人を識別すると、名前またはウェルカムメッセージがアナウンスされます。 実際のシナリオの要件に応じて、音声アナウンスのコンテンツをカスタマイズ出来ます。
次の［ようこそ］ボックスと赤いボックス内のテキストを要件にあったテキストに変更します。

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

10. ビデオインターホン

「ビデオインターホン」設定は、室内へ呼び出しと担当者を通話することができます。室内側からワンクリックでロックを解除することができます。（この機能は、当社別のシステムと連携して使う必要がありますので、導入する場合はご連絡ください。）

パラメータ説明：

設定項目	説明
有効	初期状態では有効になっていません。
ダイヤルキーの表示間隔（s）	内線番号入力するダイヤルキーの表示時間 デフォルトは 3.0 秒に設定されています。
サウンド音量	サウンド出力の音量が調整できる。 デフォルトは 6.0 に設定されています。
マイク音量	サウンド出力の音量が調整できる。 デフォルトは 4.0 に設定されています。
アカウント名	スマートインターコムシステムによって提供されるアカウントパラメーター。
ラベル名	カスタマイズ可能ですが、通常はアカウント名と一致させます。
認証 ID	認証 ID、通常はアカウントパラメーターと一致させます。
パスワード	
アドレス：	インターコムシステムの IP アドレス。
サービスセンター番号	サービスセンター番号。セットアップ後にワンクリックでサービスセンターを呼び出す番号

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

11. データ同期

「データ同期」設定は、プラットフォームのユーザーデータの増分または、再同期することが出来ます。また顔認識データ、入退出データを消去することができます。(注意：必要な場合以外は、この操作はしないでください。)

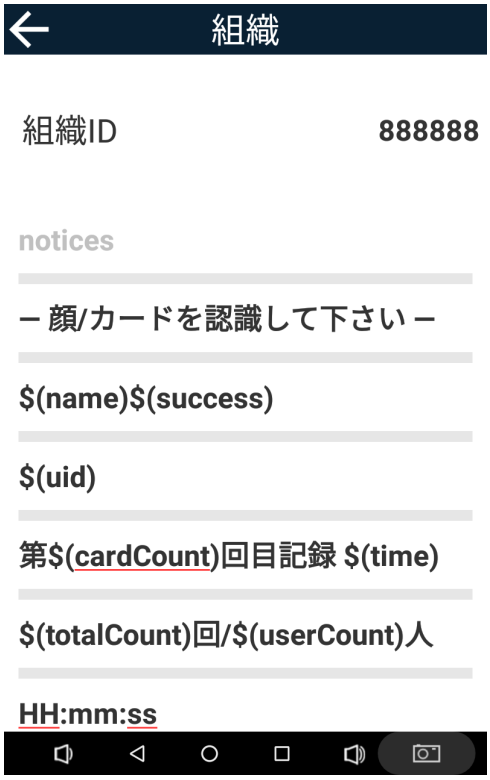
パラメータ説明：

設定項目	説明
増分同期	ユーザーデータの差分データを追加する
再同期	保存されたユーザーデータを全部消去してから、ユーザーデータを更新する
顔認識履歴を消去	顔認識履歴とスナップショットを消去する
ユーザーデータを消去する	ユーザーのローカルデータと登録画像を消去する

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

12. 組織設定

組織設定メニューは、本製品の組織 ID と顔認識／ID カード認識後の提示内とコンテンツ形式を設定することができます



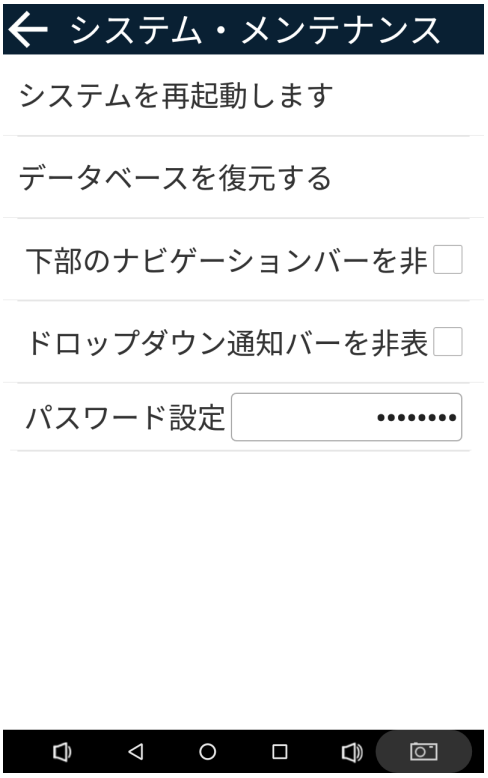
設定項目	説明
組織 ID	組織番号を設定します。
-顔を近付けてください/カードをかざして下さい-	ホーム画面の下の情報バーに表示する初期設定された文言。非表示にしたい場合は、「foot_disp_mode 」に 2 または 3 を入力してください。
$(name)$(success)	デフォルトは 「$(name)$ (success)」で、名前と認識成功文言が表示されます。 空の場合、人の名前と成功文言は表示されません。
$(uid)	ユーザーID を表示します。 空の場合はユーザーID は表示されません。
第 $(cardCount) 回 目記録$(time)	デフォルトは「$(cardCount)回目記録$(time)」で、現在の本人の合計件数が表示されます。 空の場合、ユーザーの最初のレコードは表示されません。
$(totalCount)回/$(userCount)人	デフォルトは 「$(userCount)/ $(userCount)人」で計測回数と人数が表示されます。 空の場合、計測回数と人数は表示されません。
HH:mm:ss	デフォルトでは 「HH:mm:ss」 の時刻形式で計測時の時刻を表示します 空の場合、出席時間は表示されません。

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

foot_disp_mode	画面の下の情報バーの表示方法： a).1 or 空→常に表示 b).2→ID カード認証または顔認証時のみ表示される、その以外は非表示 c).3→非表示

13. システム・メンテナンス設定

システム画面は、主に非表示のナビゲーションバーとドロップダウン通常知バーの設定と、パスワードを変更するために使用されます。

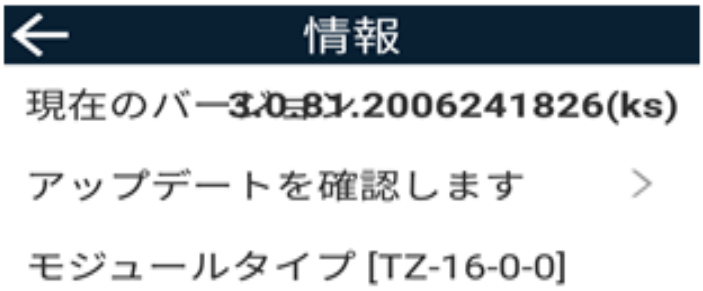


設定項目	説明
システムを再起動します	システム全体を再起動します
データベースを復元する	（※どうしても必要な場合以外は、この操作はしないでください。）
下部のナビゲーションバーを非表示にする	初期状態は有効になっていないので下部のナビゲーション バーが表示されます。 有効にすると下部のナビゲーション バーは表示されません
ドロップダウン通知バーを非表示する	初期状態は有効になっていませんのでプルダウンで通知バーが表示されます。 有効にすると、プルダウンで通知バーを表示できません。
パスワード設定	初期状態では「12345632」に設定されています。再設定を行ってください。

Copyright©2020 i-focus All rights reserved

14. 情報

情報メニューは、現在のソフトウェアバージョンとプラットフォームに最新バージョンがあるか表示します。
更新プログラムをオンラインでアップグレードするために使用されます。



15. 終了

［終了］メニューをタップし、［確定］ボタンをタップして、アプリを終了します。

Copyright©2020 i-focus All rights reserved